

平成27年度施策評価シート

<1.施策の概要>

施策 No.	1151	施策名	安全に港が利用できるまち	主 担 当 課	建設事業課
大項目	安全で快適なまちづくり			関 係 課	建設企画課
基本 方針	防波堤などの港湾・漁港施設を整備することによって、港を利用する船の出入や人の乗降を容易にし、漁船員や乗客の安全を確保するとともに港の利便性を高めます。 また、漁業作業のための用地を確保することによって、作業の効率化を図り、生産性を高めます。				

<2.施策を構成する事務事業の概要>

1	漁港施設新設改良事業											
事務事業の目的						事務事業の内容						
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)										
漁業従事者及び漁港利用関係者		漁業活動における利便性の向上と労力の省力化を図る。				漁港施設の改良工事に伴う工事，調査，設計，積算，監督，検査を行う。						
	平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度		
取組内容	●湛江漁港改修事業 ●港整備交付金事業			⇒			●湛江漁港改修事業 ・物揚場，船揚場，護岸，埋立工事 ●高島漁港改修事業 ・防波堤計画 ●港整備交付金事業			⇒ ⇒ ⇒		
	決算額	257,199	千円	決算額	227,433	千円	決算額	279,881	千円	決算額	208,463	千円
直接事業費	うち一般財源	30,308	千円	うち一般財源	23,532	千円	うち一般財源	24,359	千円	うち一般財源	28,280	千円

2	港湾施設新設改良事業												
事務事業の目的							事務事業の内容						
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)											
港湾利用者及び付近に在住の市民			港湾施設の整備により船舶の安全な係留、運航を確保するとともに、地域住民の安全と財産を守る。				外郭施設(防波堤、護岸等)、係留施設(物揚げ場、浮桟橋等)、水域施設(航路、泊地)の新設改良を施工するための設計・積算・工事監督を行う。						
	平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度			
取組内容	●大浦港改修(統合補助)事業			⇒			●大浦港改修(統合補助)事業 ・物揚場、係船岸整備工事			●大浦港改修(統合補助)事業 ・物揚場整備工事			
直接事業費	決算額	51,198	千円	決算額	17,795	千円	決算額	11,445	千円	決算額	59,912	千円	
	うち一般財源	2,884	千円	うち一般財源	2,875	千円	うち一般財源	435	千円	うち一般財源	4,853	千円	

3	漁港・港湾施設修繕事業																					
事務事業の目的						事務事業の内容																
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)																				
漁協組合員及び地区住民、海岸背後地に在住の市民			漁業活動の軽労化と利便性の向上を図るとともに、船舶の安全な運行と係留を確保する。			各漁港と港湾施設の機能保全と機能回復を図るため工事、計画、設計、積算、工事監督																
												平成23年度		平成24年度			平成25年度			平成26年度		
取組内容		○漁港6港、修繕工事 ○港湾6港、修繕工事 ●港湾施設維持管理計画策定			●漁港施設維持管理計画策定 ●港湾施設維持管理計画策定			○漁港6港、修繕工事 ・設計積算及び工事監督 ○港湾6港、修繕工事 ・設計積算及び工事監督 ●漁港施設維持管理計画策定 ●港湾施設維持管理計画策定			⇒ ⇒ ⇒ ⇒											
直接事業費		決算額	40,411	千円	決算額	51,679	千円	決算額	68,152	千円	決算額	39,852	千円									
		うち一般財源	28,231	千円	うち一般財源	19,822	千円	うち一般財源	26,035	千円	うち一般財源	38,848	千円									

4	漁港・港湾施設維持管理業務											
事務事業の目的						事務事業の内容						
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)										
漁港・港湾施設利用者		漁港・港湾施設を適正に管理することにより、利用者が安全・安心して利用できるようにする。				・漁港施設、港湾施設、海岸保全施設の管理事業 ・漁港施設、港湾施設、海岸保全施設の台帳整理 ・漁港、港湾の港勢調査						
	平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度		
取組内容	・港湾、漁港、海岸施設台帳の電子化			⇒			⇒			・港湾、漁港、海岸保全施設の維持管理		
直接事業費	決算額	6,756	千円	決算額	7,703	千円	決算額	6,995	千円	決算額	3,621	千円
	うち一般財源	5,875	千円	うち一般財源	6,320	千円	うち一般財源	5,571	千円	うち一般財源	3,621	千円

<3.施策の直接事業費(2の合計)>

	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
直接事業費	355,564	千円	304,610	千円	366,473	千円	311,848	千円
うち一般財源	67,298	千円	52,549	千円	56,400	千円	75,602	千円

<4.指標>

指標名				目標・実績の推移					
				H21 実績	H23 実績	H24 実績	H25 実績	H26 実績	H29 目標
1	漁港施設要望箇所整備率	単位	目標				33.3	40.0	50.0
		%	実績	16.7	11.1	33.3	40.0	40.0	
			達成率				120.1%	100.0%	
2	港湾施設要望箇所整備率	単位	目標				50.0	50.0	50.0
		%	実績	0	0	0.0	40.0	40.0	
			達成率				80.0%	80.0%	

＜5.前年度の委員コメントに対する対応・回答＞

委員コメント	対応・回答
・農商工連携による高付加価値化を推進する港の整備も必要と考えられます。	→ 笠岡市が管理する港は、漁港6港、港湾6港の12港があり、このうち陸地部にある横江漁港と正頭漁港の2港は、それぞれ漁協の事務所と直売施設があり、御意見のとおりの高付加価値を推進する港として整備されています。 離島の10港につきましても、水産加工場の整備や水産物に限らず地元の特産品等の直売所の整備など、農商工の連携により、可能な限り地場産業の促進につながるような港の整備に努めてまいります。 (対応) 湛江漁港の改修事業を行い、平成29年度に完成する予定。
・漁業従事者と市民との距離が近くなるような施策をお願いいたします。	→ 離島の漁港は、漁業従事者のための施設であるという一面と、その島の玄関口として交通の要所であるという一面を有しております。そのため、浮桟橋等の漁港施設の充実、その施設を利用する一般住民の利便性の向上に繋がるものと考えます。 また、漁港全般に関し、異常高潮などの災害時に港を守ることが、後背地の住宅を守ることにつながるため、漁港施設の機能強化が一般住民の安心安全に繋がるものと考え、今後も漁港施設の整備に努めてまいります。 漁業従事者が行っている「さかなまつり」や「かきまつり」などの鮮魚を販売するイベントも漁業従事者と市民との距離が近くなるものと考えます。

＜6.平成26年度の振り返り＞(担当部署自己評価)

施策の進捗度	A: 施策を構成する事業が順調に進行している。 B: 施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C: 施策を構成する事業が一部遅れている。 D: 施策を構成する事業がほとんど遅れている。	B
--------	--	----------

＜7.施策の課題と改善案＞

課題と改善案	1 漁港施設新設改良事業 (課題) ・交付金などの補助事業では、当初予算の段階で交付額が減額され、事業計画の工程の見直しや、期間延伸が必要となる。 (改善策) ・計画工程の見直しや期間延伸について、関係機関との調整を密にし、事業費の平準化を図る。 ・未着手の要望事業については、早急に事業化の目途をつけ、特定財源を確保するため、交付金事業等への採択を目指す。 2 港湾施設新設改良事業 (課題) ・近年、工事で使用する作業船の確保が困難となっており、工事工程に大きな影響を及ぼすことがある。 (改善策) ・交付決定後、速やかに契約を行い、余裕を持った工事工程を確保する。 ・未着手の要望事業については、早急に事業化の目途をつけ、特定財源を確保するため、交付金事業等への採択を目指す。 3 漁港・港湾施設修繕事業 (課題) ・老朽化施設の修繕や改修は、多額の工事費を必要とするため、特に港湾事業については特定財源の確保が必要である。 (改善策) ・特定財源を確保するため、交付金事業等への採択を目指す。
--------	---

＜8.委員による評価結果＞

総合 評価	A: 計画どおり進行している。 B: おおむね計画どおり進行している。 C: 計画より一部遅れている。 D: 計画より遅れている。	B	(参考) 昨年度の評価結果 (前期4年間の総合評価)	B
コメント				